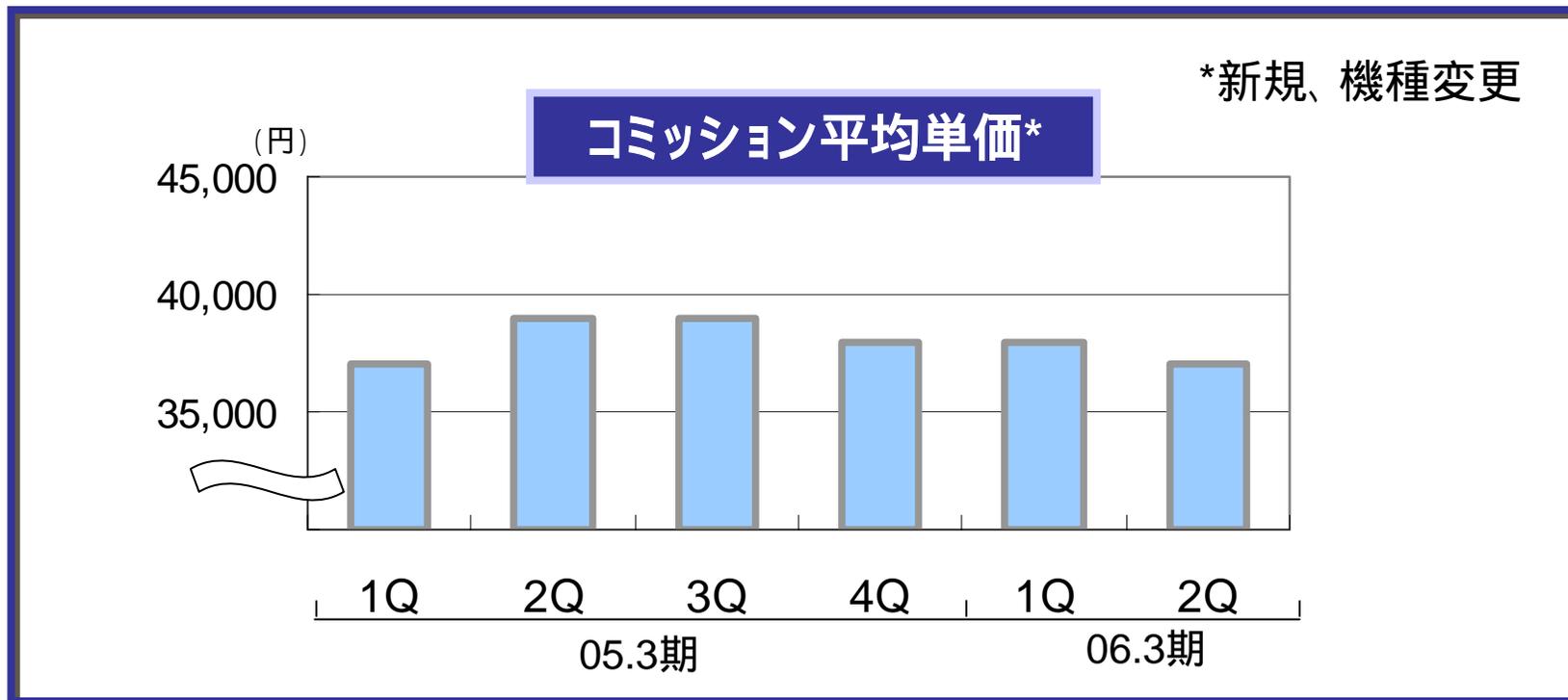


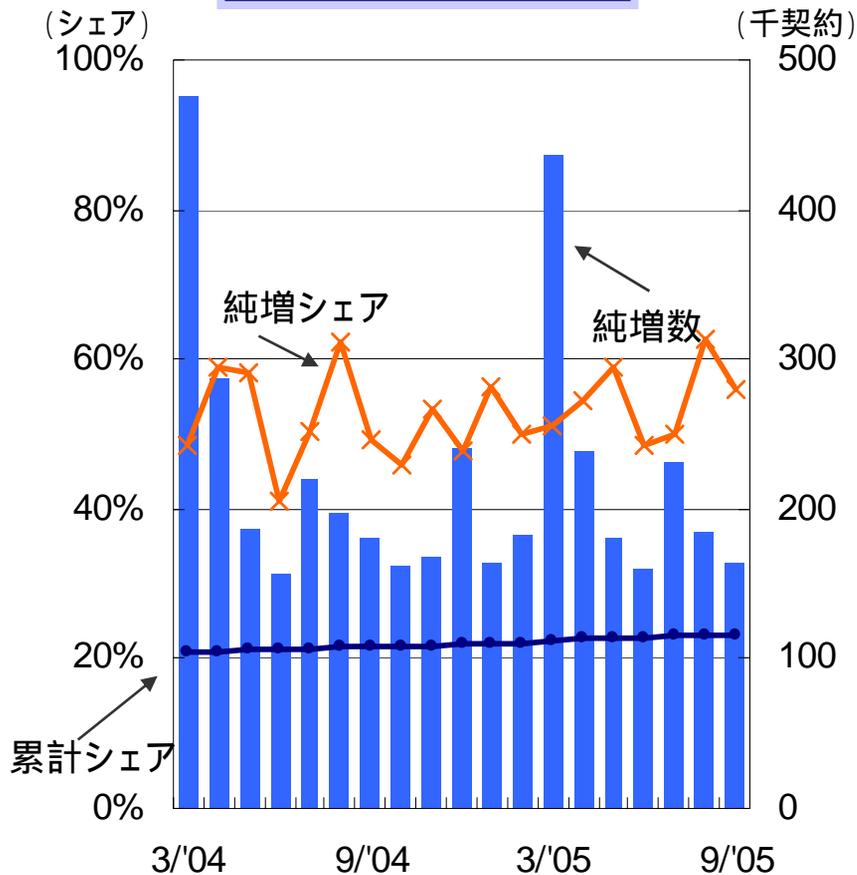
1.1. 販売コミッション



	05.3期					06.3期(予)		
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	
販売コミッション総額 (億円)	940	1,140	1,120	1,240	4,440	1,020	1,190	4,570
コミッション平均単価(円)	37,000	39,000	39,000	38,000	38,000	38,000	37,000	38,000
販売台数(万台)	255	293	287	323	1,159	270	322	1,210

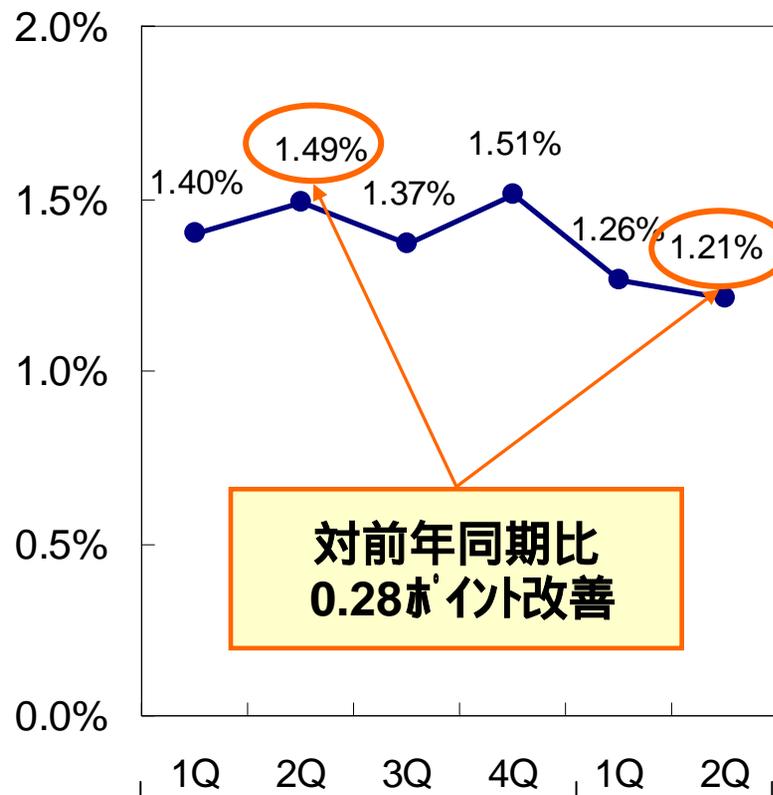
1.2. 純増と解約率

純増



05.3期/通期	06.3期/上期
純増シェア <50.4%>	<54.5%>
累計シェア <22.5%>	<23.2%>

解約率

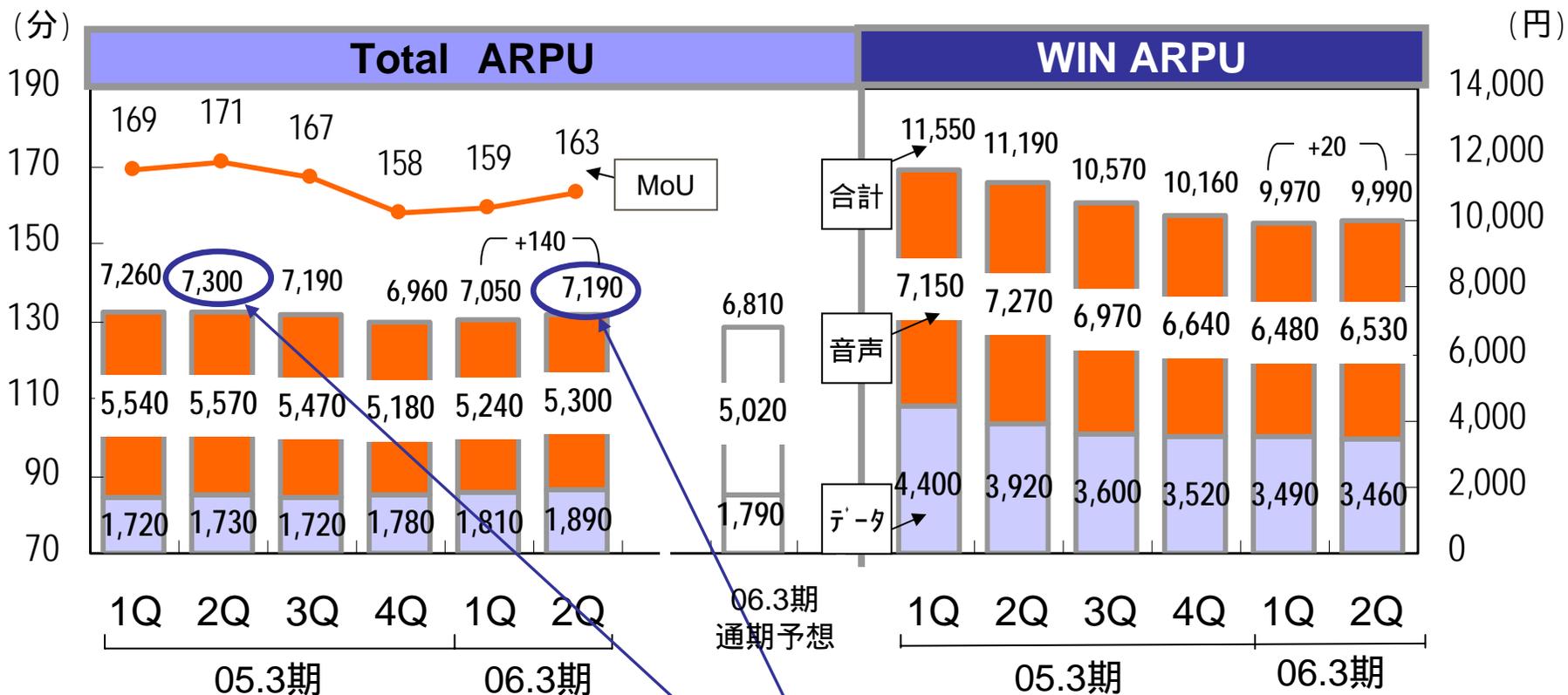


05.3期 通期平均 <1.44%>

06.3期

(注) 解約率はモジュール系を除く。

1.3. ARPUの推移



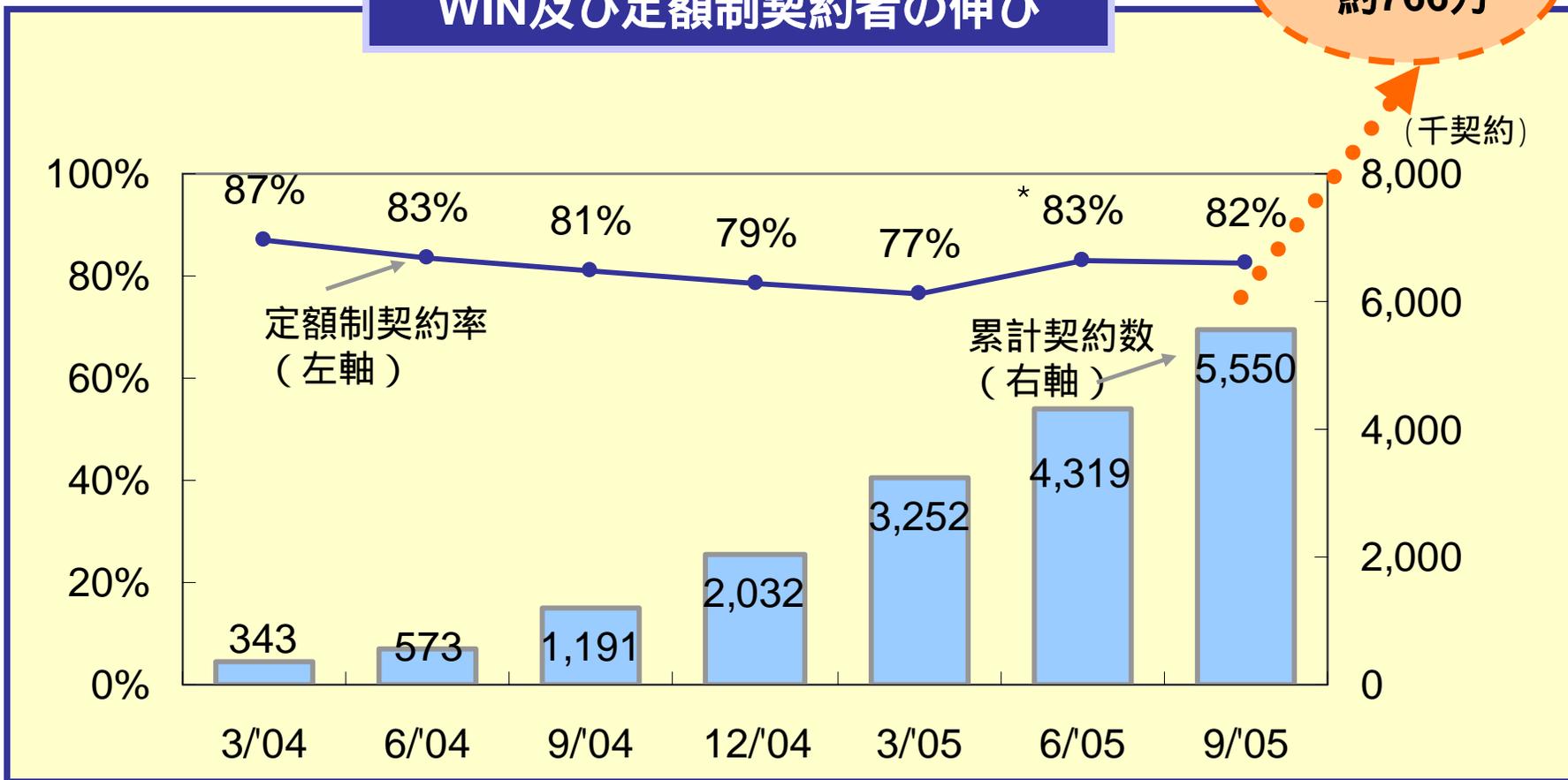
通期平均 <7,170円>
 うち 音声 <5,430円>
 データ <1,740円>

対前年同期比
 合計 110円 (1.5%)
 音声 270円 (4.8%)
 データ + 160円 (+ 9.2%)

05.5月のダブル定額ライト開始により、さらに幅広い層を定額制に取り込みつつある。

WIN及び定額制契約者の伸び

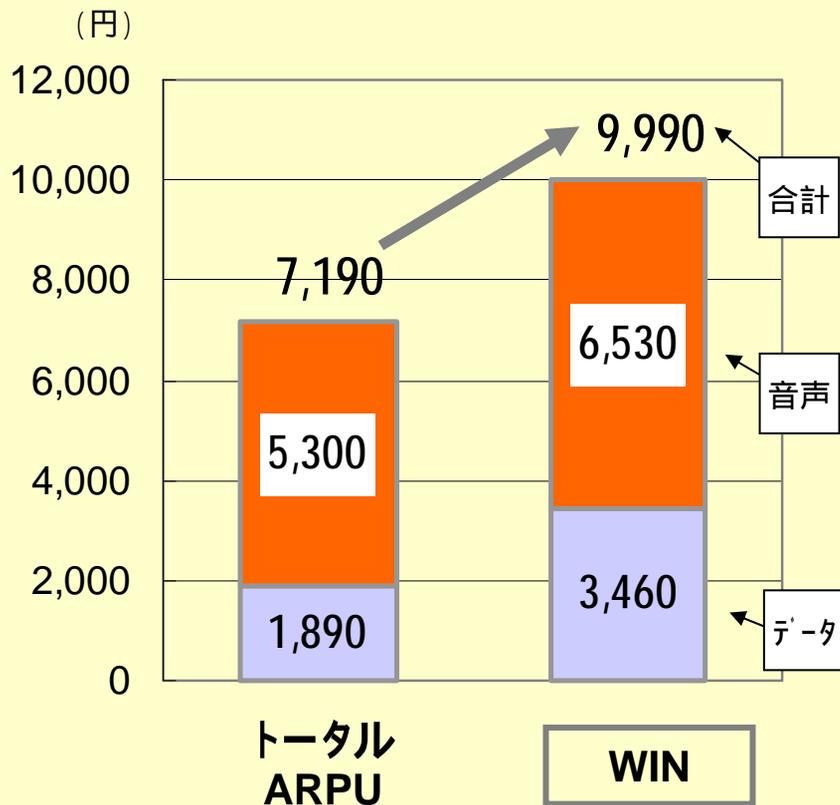
3/06末目標
約766万



(注)ダブル定額ライト開始に伴い、05.6月末以降の定額制契約率は、ダブル定額ライトを含む。
05.3月末の旧パケ割WIN契約率(05.5月以降自動的にダブル定額ライトに移行)は6%。

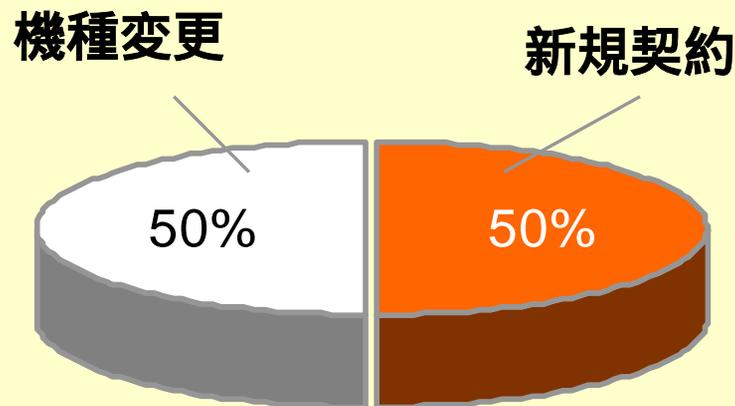
新規契約の割合は約半分と、WINにより引続き他社ハイエンド層を獲得。

ARPU



(注) 06.3期 / 2QのARPU。

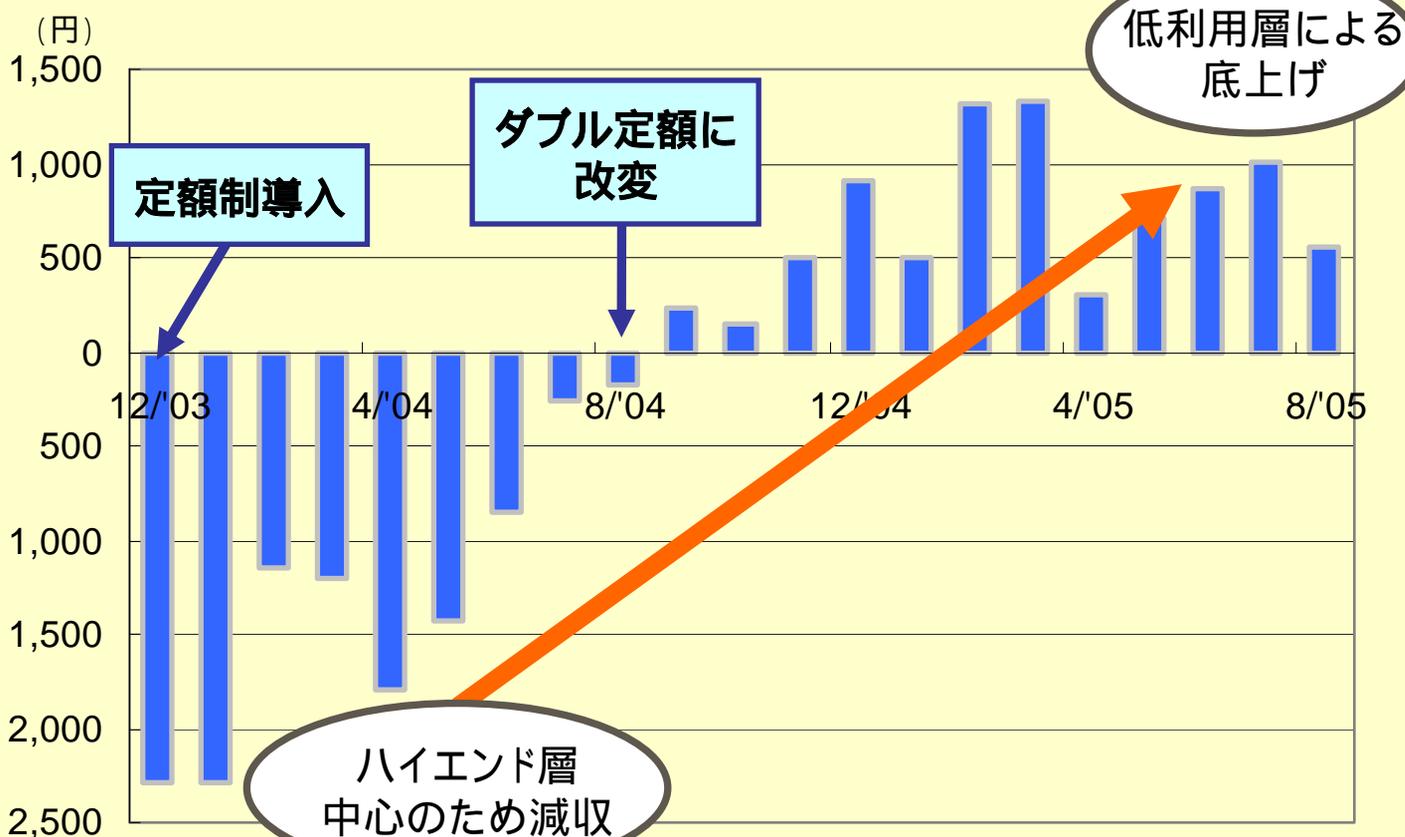
WINの契約者構成比



(注) 06.3期 / 2Qの契約者の単純累計の割合。

初期はデータハイエンド層の定額制移行による影響が見られたが、ダブル定額導入以降、WINシフト後のARPUが上昇傾向に。

1X WINのARPU増減



(注)WINへの機種変更者の、移行前後の月次ARPU比較。

3. 総合的な商品力の強化 (1)

伝送能力、コスト競争力等インフラの強みにより、端末、料金、コンテンツの総合的な商品力強化による差別化を図る。

端末



料金

ダブル定額

ダブル定額 ライト

PCSV定額化

コンテンツ&アプリケーション



インフラ

cdmaOne

1998年

CDMA2000
1x

2002年

1xEV-DO
(Rev.0)

2003年

CDMA 1X

WIN

1xEV-DO
Rev.A

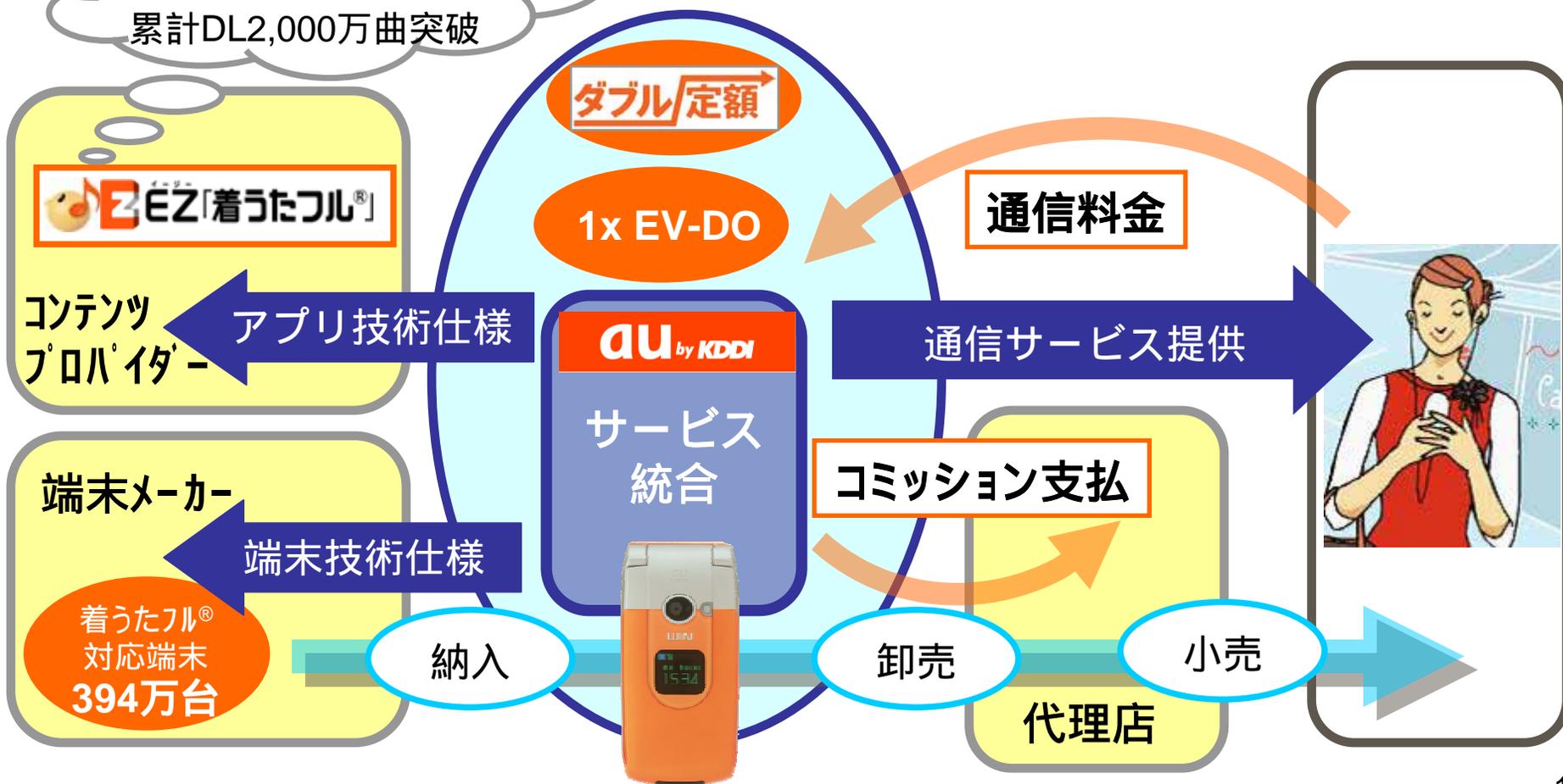
2006年中に導入予定

Evolution

3. 総合的な商品力の強化 (2)

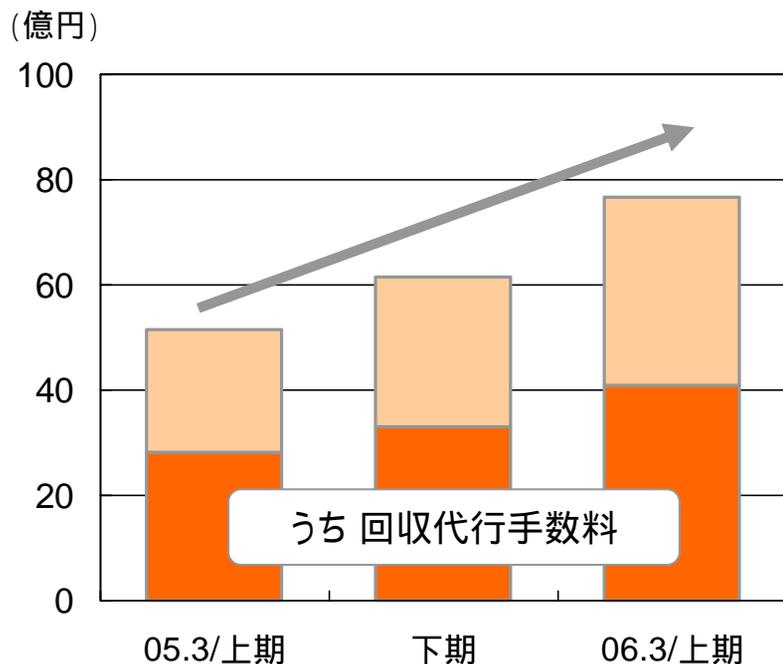
インフラ、端末、料金、コンテンツを戦略的に投入し、魅力的なサービスの早期普及を図る。

2004年11月開始。
わずか10ヶ月で
累計DL2,000万曲突破

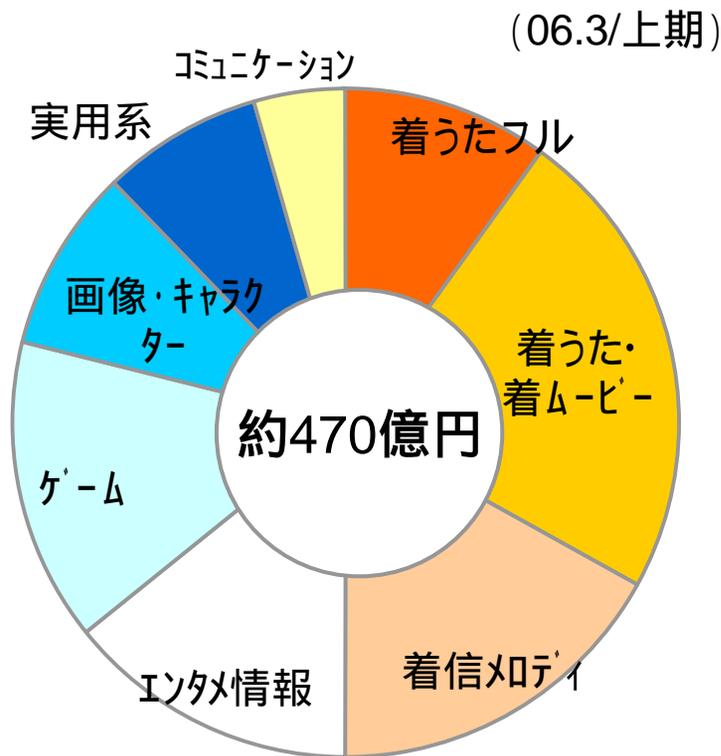


コンテンツ・メディアビジネスの売上が堅調に伸びており、半期77億円に。
音楽系(着うたフル、着うた)が牽引。

コンテンツ・メディアビジネスの売上高

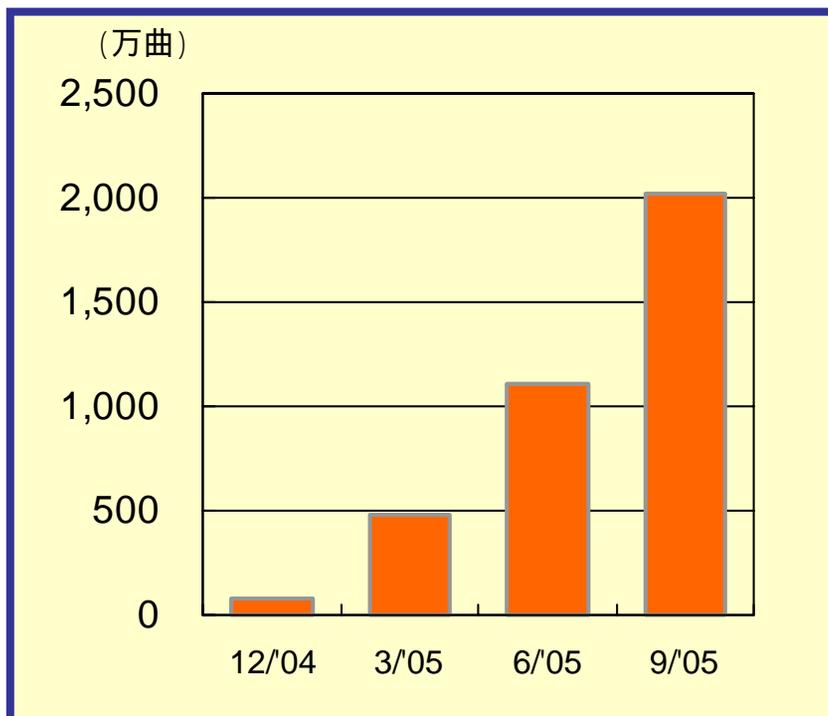


有料コンテンツ利用額

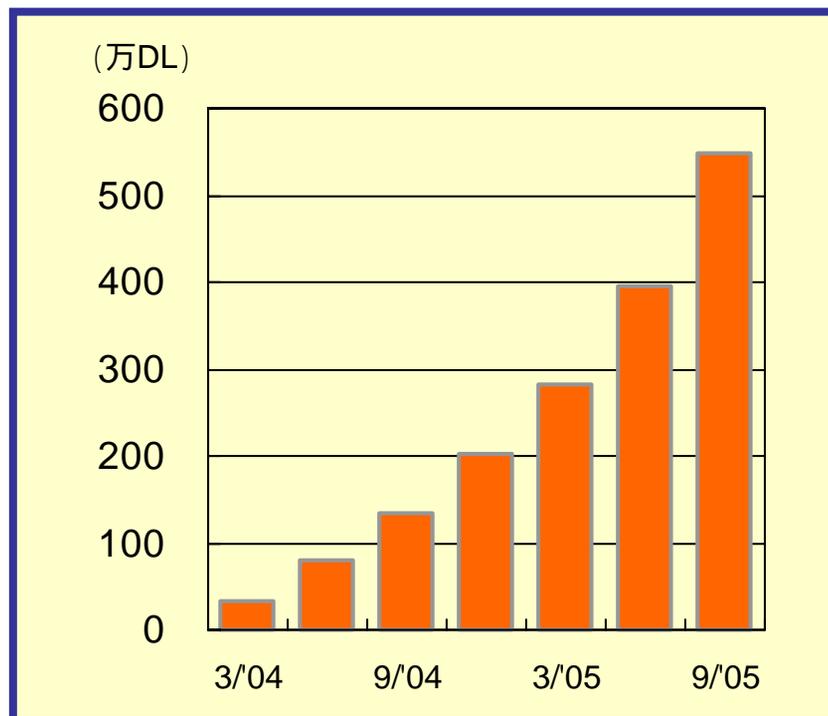


(注) 有料コンテンツ利用額はコンテンツ・プロバイターの売上であり、このうち、1割弱が回収代行手数料としてKDDIの売上となる。

EZ「着うたフル」 累計ダウンロード数



EZブック 累計ダウンロード数



累計約2000万曲ダウンロード達成
(05年9月28日)

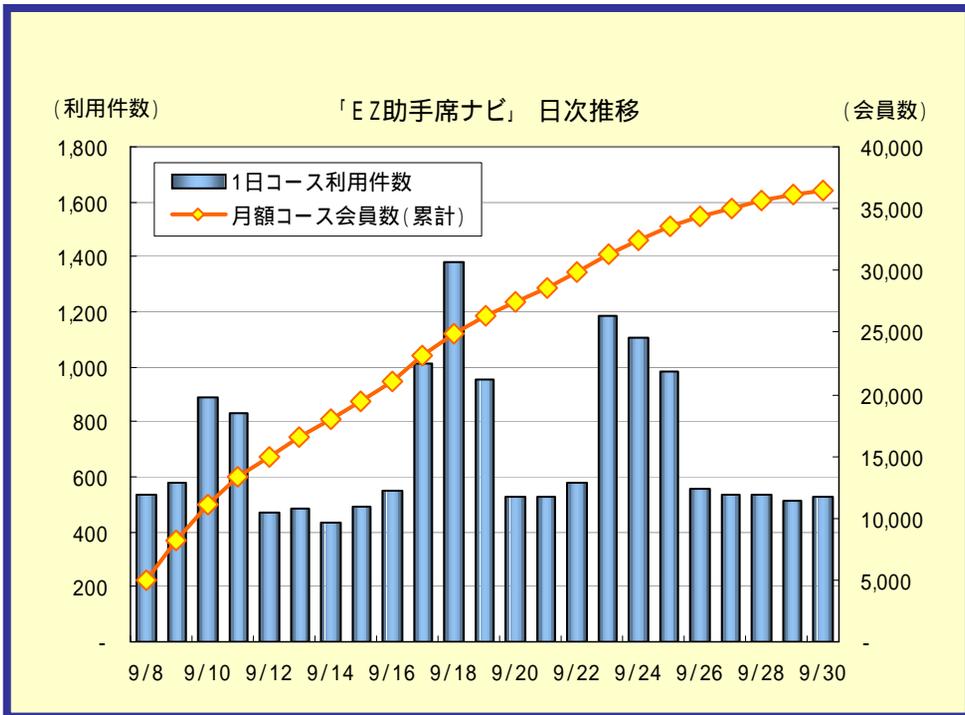
対応楽曲数 6万曲以上

対応端末数 394万台(05年9月末)

累計約550万ダウンロード*
(05年9月末時点)

*KDDI指定公式電子ブックビューア(ComicSurfing)利用
コンテンツの総計

EZ 助手席ナビ



目的地までのルートが地図上に表示され、音声案内が始まります。



05年9月8日にサービスを開始、当初の目標を大幅に上回る順調な滑り出し
ドライブ利用という新たなシーンの提案を通じ、潜在ニーズを掘り起こし
ユーザの利用頻度に合わせ、月額コース、1日コースの2通りを設定

5. 端末コスト低減への取組み

端末コストの削減

- 海外メーカーと日本向け端末を共同開発
- KCP活用による各端末メーカー間でのハードウェアとソフトウェアの共通化

韓国パンテック社からの調達

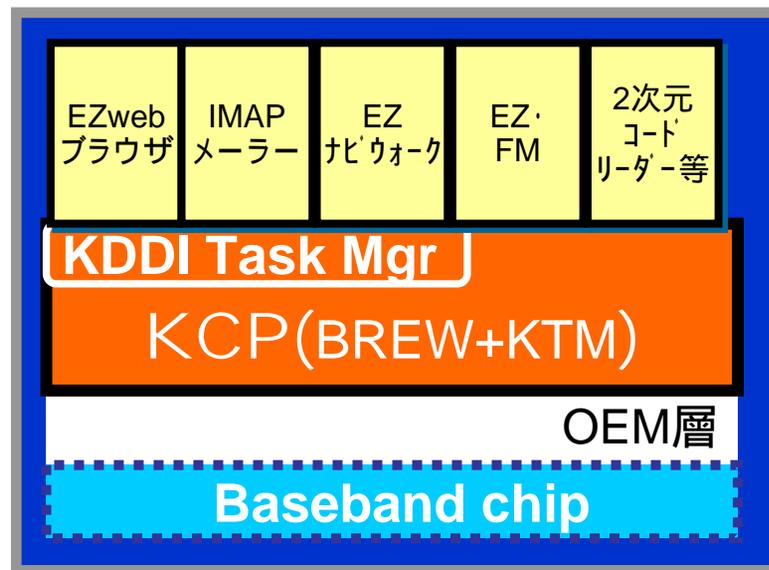
- CDMA世界5位のスケールメリットを部品調達・製造に活用
- 日本市場を意識し、快適にお使い頂けるユーザーインターフェースと外観デザインを共同開発



2005年11月下旬発売予定

KCP (KDDI Common Platform) の推進

- WIN05年夏モデルから2社対応開始
- 06年度以降全メーカー対応予定



6. 「家族割ワイドサポート」による獲得強化



小・中学生及び60歳以上の方が、ご家族と一緒にau携帯電話をご利用いただきやすくするために「家族割 ワイドサポート」を導入。

下記 ~ の全てに該当する
お客様に自動的に割引を適用

小・中学生及び満60歳以上
CDMA 1X「サポートプラン」にご加入
家族割と年割の両方にご加入

CDMA 1X「サポートプラン」

月々の基本使用料

1,500円(税込1,575円)*

3,400円

(税込3,570円)

●無料通話 なし ●通話料 10円/10秒(税込10.5円)

auご加入4ヶ月目以降の場合。3ヵ月以内は2,000円(税込2,100円)

さらに、家族割の上限数を現状の6回線から10回線に拡大